OCaml を始めるには時期が良い

yuki @lmdexpr 2025-01-18

はじめに

この中に最近 OCaml を使ったことのある方はいますか? (直近 2 年以内とします)

はじめに

この中に最近 OCaml を使ったことのある方はいますか? (直近 2 年以内とします)

→ごめんなさい。今回の話は知っている内容かもしれません。

今回の話の対象者

L1

• 関数型プログラミングに興味があるが触ったことがない

L2

• 関数型プログラミング言語を触ったことがあるが普段は別の言語

L3

- 他の関数型言語を主に使っている
- 昔の OCaml は触ったことがある

OCaml について (L1~L2)

OCaml とは、

• 非純粋

0

• 正格評価

0

• 静的型付けと強力な型推論

 \bigcirc

を特徴とした関数型プログラミング言語です。

OCaml について (L3)

OCamlとは、

- 非純粋
 - 手続き型プログラミングや副作用を直接扱える
- 正格評価
 - モナドが不要
- 静的型付けと強力な型推論
 - 基本的には型を書かなくても良いが、抽象化は出来る

を特徴とした関数型プログラミング言語です。

L3 向け補足

モナドは不要ですが、モナドっぽい書き方も出来ます。

Chapter 12 Language extensions

https://ocaml.org/manual/5.3/bindingops.html



L3 向け補足

OCaml における (IO) モナドに関するスレッド:

IO Monad for OCaml

https://discuss.ocaml.org/t/io-monad-for-ocaml/4618/11?u=Imdexpr



今熱い理由

- 並行並列プリミティブが 5.0 で導入
 - それに伴い、ドキュメントも一新
- 5.1, 5.2, 5.3 で数々の改善
 - エラーメッセージの改善
 - 標準ライブラリに 97 個の新しい関数
 - その他、ランタイム、パフォーマンスの改善などなど
- 更に 2025-01-08 リリースの 5.3 では Deep Handler の syntax support も入り、本格的に使えるように! (後述)

今熱い理由

- 並行並列プリミティブが 5.0 で導入
 - それに伴い、ドキュメントも一新
- 5.1, 5.2, 5.3 で数々の改善
 - エラーメッセージの改善
 - 標準ライブラリに 97 個の新しい関数
 - その他、ランタイム、パフォーマンスの改善などなど
- 更に 2025-01-08 リリースの 5.3 では Deep Handler の syntax support も入り、本格的に使えるように! (後述)



Algebraic Effects and Handlers とは(L1, L2)

- 復帰できる例外のこと
- それだけなのに色々なものが実装できてしまう
 - async/await
 - トランザクション
 - ジェネレータ
 - 状態管理
 - その他色々...

Algebraic Effects and Handlers とは(L1, L2)

復帰とは?

→ 例外の発生地点に戻ってくるということ

```
try {
  let name = user.name;
  if (name === null) {
    throw new Error('error');
  }
  return name; // null の場合、ここには到達しない
} catch (e) {
  console.log(e);
}
```

Algebraic Effects and Handlers とは(L1, L2)

※嘘文法です

出典: https://overreacted.io/algebraic-effects-for-the-rest-of-us/

```
try {
 let name = user.name;
 if (name === null) {
   name = perform 'ask_name';
 return name;
} handle (effect) {
 if (effect === 'ask_name') {
    resume with 'Arya Stark';
```

Algebraic Effects and Handlers とは(L3)

- 限定継続が取れる例外のこと
- Monad / Extensible Effects でやってたようなことがやりたい

5.3 で出来るようになったこと

```
let rec spawn f =
  match_with f {
    retc = (fun () -> dequeue ());
    exnc = (fun e -> print_string (Printexc.to_string e); dequeue ());
    effc = (fun (type a) (e : a Effect.t) ->
      match e with
      | Yield -> Some (fun k : (a, unit) continuation) ->
          enqueue k; dequeue ()
      | Fork f -> Some (fun k : (a, unit) continuation) ->
          enqueue k; spawn f
      | _ -> None
```

5.3 で出来るようになったこと

出典:

https://x.com/kc srk/status/1789140451766779983

未来の話

- 現状
 - 並行並列が色々とまとまってきた
- ・これから
 - Flambda2 (OCaml の最適化フレームワーク後継) の開発が進行中
 - 。 WASM へのコンパイル対応も絶賛進行中 ← 熱い
- もう少し先
 - Moduler Implicits
 - Typed Algebraic Effects

出典: https://ocamlverse.net/content/future_ocaml.html

OCaml を始めるには時期が良い

まずは公式サイトから playgroundで触ってみましょう https://ocaml.org



(デフォルトのサンプルがゴリゴリで面白い)

install するなら opam から

https://ocaml.org/docs/installing-ocaml



opam は OCaml のパッケージマネージャ OCaml 自体のインストール、バージョン管理も出来るのでここから

その他のツールチェイン https://ocaml.org/platform

- dune:ビルドツール
- utop: REPL
- merlin: Vim, Emacs のためのツール
- ocaml-Isp-server : LSP (個人的には merlin よりこっちがオススメ)
- ocamlformat: コードフォーマッタ

将来的には dune に統一していきたいらしい

参考: https://ocaml.org/tools/platform-roadmap

Books

https://ocaml.org/books?language=All&difficulty=All&pricing=free

- プログラミングの基礎
 - ○日本語の入門書
- OCaml Programming: Correct + Efficient + Beautiful
 - コーネル大学の教材 (CS3110)
- Real World OCaml
 - デファクトスタンダードなライブラリ (Base, Core など) を含め、 実践的な内容が記載されている

その他の情報源

https://ocaml.org/community



Exercises

https://ocaml.org/exercises



Exercises

https://ocaml.org/exercises



AtCoder とかでも使えるので、競プロ好きな方は是非 (現時点でアクティブに使っているのはどうやら私だけ......)

- 5.x 目玉機能 Algebraic Effects and Handlers については、
- https://github.com/ocaml-multicore/effects-examples
 - 既に 5.3 に対応している
- https://github.com/ocaml-multicore/ocaml-effects-tutorial
 - issue #13 にて 5.3 対応しようとしている

さいごに

さいごに

OCaml 始めてくれ頼む!

Questions?